

### 人口と世帯

54.1.1現在

(前月比)

男 5,797人 (+1)

女 6,131人 (±0)

計11,928人 (+1)

世帯数2,760(-4)

# 広報くにみ

発行/国見町役場

編集/企画課

福島県伊達郡国見町

大字藤田字一丁田二

2ノ1番969-17

電話藤田(024585)2111(代)

昭和54年1月15日

No. 67



# '79

# 1月

## おもな内容

- 国見町の歴史をたずねて……2-5
- 町勤労者互助会が発足……6
- あの人この人……6-7
- 公民館だより……8-9
- 20歳を迎えて……10
- 募集作文発表……11
- お知らせ……12

### 「成人者のつどい」

実行副委員長

佐藤恵美子さん (20歳)

(石母田字荒町28、松男さんの長女)

今年の成人者は171名。1月15日の成人式を前にした1月6日、新成人者たちが親睦を深め意義ある成人式を迎えようと「成人者のつどい」が行われた。恵美子さんは、その実行委員会副委員長である。

はたちになって「十代の頃と違ってすべての行動に対し責任が感じられるようになった。自分でも住みよい社会にするために努力してゆきたい」と抱負を語る。

小柄な体に秘められたファイトが感じられる彼女である。

# たずねて

## ～1月特集～

わが町には数多くの史跡がありますが、その中で代表的なもの、あるいは形として残されているものを取り上げました。

### ④石母田供養塔



阿津賀志山



### ①岩淵遺跡の復元住居

○光明寺跡

### ②二重堀と阿津賀志山古戦場

○山居遺跡

### ⑤石母田城の跡

### ③長坂の茶屋跡と芭蕉の記念碑

○山田遺跡

### ⑥義経腰掛の松

○大木戸竈跡

○上野台遺跡

○森山古墳群



〔二重堀跡〕

○古館

○竹ノ内遺跡



〔義経腰掛の松〕



〔芭蕉の記念碑〕

阿武隈川

梁川町

至仙台

わいた

東北

本線

国道四号線

# わが町の史跡を



(石母田供養塔)

○小坂峠碑



○内谷沼碑

○成宗墓

(石母田城の跡)



(旧佐藤家住宅)

## ⑧ 旧佐藤家住宅

現在福祉センター  
隣に保存

説明は  
次ページへ



(八幡塚古墳)



(出土した石製模造品)

## ⑦ 塚野目古墳群と 八幡塚古墳

# わが町の史跡をたずねて

(前ページより)

## ① 岩淵遺跡の復元住居

岩淵遺跡は国見町における縄文時代の代表的な遺跡である。

昭和四十七年暮、地主後藤忠一氏は桑園を桃畑にするために、ブルドーザーで桑を起した。たまたま行われた分布調査により遺跡であることが確認され、昭和四十八年発掘調査の結果、直径八〇センチの石組炉、三、四口の土器埋設石組複式炉を持つ直徑七、四口のほぼ円型の竪穴式住居跡が発見された。

岩淵の地は、あつかしのすそ野が牛沢川にまで伸びたところの丘陵地であり、生活をするのに必要な山の幸、川の幸などに極めて恵まれた地形といえる。

町では、この遺跡を保存するため、昭和四十九年、多くの人々の協力を受け、三本柱を手がかりとして復元された。

## ② 二重堀と

### 阿津賀志山古戦場

阿津賀志山は、奥州藤原勢と鎌倉の頼朝勢が攻防を繰り返した古戦場として知られており、二重堀

が当時の名残をとどめている。

藤原勢は、阿津賀志山の中腹から阿武隈川まで二重堀をつくり、頼朝勢を防ごうとした。しかし、背後を襲われた藤原勢の敗北に導き、頼朝勢は平泉に向かって進軍した。藤原三代の栄華が夢と化すその前のような戦であったわけだ。

二重堀は、現在、大木戸と西大枝にその面影をとどめている。空堀内は四十度から五十度内外の急勾配の角度を持つ逆台形をなし、三つの土塁はいずれも正確な計測のもとに造られたことが明らかとなつて、藤原氏の平泉文化の水準の高さをまざまざと示している。このことから、二重堀遺構は、この町を代表する文化財であると同時に、果なれた東北地方の歴史にかかわるものといえる。

## ③ 長坂の茶屋跡と

### 芭蕉の記念碑

阿津賀志山の中腹あたりに長坂の茶屋跡といわれる場所がある。その道は今では廃絶しているが、昭和四十三年、後世に伝えるために芭蕉の記念碑が建てられた。

この周辺は、北限の関門として

遠く王朝時代から和歌に詠(よ)

まれていたが、俳人松尾芭蕉は、実際に自らの足で踏破し、自らの紀行文の中でこの地を天下に紹介した。奥の細道の一文、踏縦横に踏んで伊達の大木戸をこすは、県内の紀行の終りをつげるものとしてあまりにも有名なである。

この道筋は、義経一行が頼朝の挙兵を知って鎌倉に馳せ参じ、ついにほそれに追われて辛酸を重ねてのがれた道である。

芭蕉もこの碑の建つあたりには杖を運び、茶屋の軒に笠をかけ、義経の境遇を思い、熱い涙に長旅の破衣の袖をしんとしにぬらしたのではななかりうか。

## ④ 石母田供養塔

「一山一寧の碑」または「蒙古の碑」などの名で知られているこの石碑は、正式には「石母田供養塔」として昭和十年六月に国の史跡に指定された。

この碑は高さ一・八メートル、一山一寧によつて書かれたものであり、「阿閃如来」を表す梵字とこの供養石塔の起源と功德を解いた六行の碑文が刻まれている。一山一寧は、一九九年に「元」の使僧として渡来し、その学徳によつてちに南禅寺(京都五山の)上となつた位の高い寺院、主とな

# たずねて (年代順)

壮年学級学習会の資料より

(渡部正俊氏作成)

### (6)平安時代

- 徳江廃寺 (徳江)
- 三常院仏像 (光明寺)
- 山居遺跡 (高城)
- 条理のあと 石母田、森山、大木戸、高城、徳江、藤田
- 塚野目、山崎
- 阿津賀志山の戦 (1189) 二重堀 (大木戸、石母田

西大枝)

古戦場碑 (明治18年)

### (7)鎌倉時代

- 光明寺跡 (光明寺)
- 石母田供養塔 (石母田) (徳治3年 [1308])
- 万福寺跡 (石母田)

### (8)室町時代

- 塚野目城跡 ○石母田城跡 ○古館 (西大枝)
- 藤田城跡 ○山崎城跡 ○小屋館 (小坂)
- 伊達成宗の墓
- 旧佐藤家住宅 (県重文) (享保頃1716~34)
- 芭蕉の記念碑 (昭和43年)
- 戸賀崎翁碑 (天保4年1833)
- 葦塚碑 (嘉永3年1850)
- 阿津賀志山供養碑群 (慶応年間1865~7)
- 熊坂通山の画碑 (寛政8~元治元年1976~1864)
- 岡部氏の墓 (寛政8年1796)
- 半田銀山の矢筈鉤口
- 早田弘道碑 (文久3年1863)
- 内容沼改修記念碑 (大正14年)
- 小坂今道新聖記念碑 (慶応2年1866)

つた人であるが、朱子学に詳しく書にすぐれた五山文学の祖の一人で後宇多天皇の寵を受けた名僧である。

この人の書による石碑は関東以北に三基あるとされているが、この立派な供養塔が石母田にあるいは明らかではない。

### ⑤ 石母田城の跡

石母田城跡は、国見町の代表的な城(館)跡の一つに数えられるもので、深く幅広い堀をめぐらした中世の地頭館の典型を示している。その規模は、当時の面積にして約五町歩、本丸とおぼしき「館の内」その東に横町、南には荒町などがあり、これらを囲むようにして外堀がめぐらされ、その内側に家臣が住んでいたものと思われる。さながら城下町を形成していたものといえる。



城主石母田氏が、いつの頃この地に入ったかは知るべき資料も得られないが、一四〇〇年代後半になると、かなり重要な地位にあったことが文書に見られるところも、かなり古くから住みついたものと思われる。

### ⑥ 義経の腰掛松

義経の腰掛松は阿津賀志山のふもと、国見神社の西にある。

頼朝に追われ、奥州路を下る源義経一行が、ようやくこまでたどりついでこの地に休んだところ、敷物がなかつたので、そばにあった若松に腰をおろして休んだといわれている。

この若松が成長し、後年、東西一九間、南北一八間、高さ一丈三尺に上つたといひ、後、里人は義経の武勲を追慕し、これを子孫に伝えることによるといふ。

現在の松は二代目といわれ、初代の松をしのぐ美しい形態は町の天然記念物として文化財の指定をうけている。

### ⑦ 塚野目古墳群と八幡塚古墳

塚野目古墳群は、国見町の塚野目地区から桑折町の伊達崎字錦木塚におよぶ、県北地方では最大級の古墳群である。

伝えによると、ここには四十八基の古墳があつたことだが、現在確認されているのが三十四基、古墳の墳丘をどめているのが七つである。造られた年代は五世紀から七世紀とみられ、中期古墳(石製模造品や鉄剣が出土した大型古

墳)を伴うものとして有名である。

その代表的なものが八幡塚古墳である。以前は、直径四十メートルほどの円墳であるといわれていたが、昭和五十年三月の調査によつて、長径七十メートルの前方後円墳であることがわかつた。堀の幅が八メートル、深さは一・五メートルである。

これほどの古墳は県内でも十指に入るものであり、今後、破壊から守り、後世に伝えなければならぬものである。

### ⑧ 旧佐藤家住宅

高速自動車道敷地内の遺跡調査の際、旧佐藤一家の住宅が調査員の目にとまり、江戸時代中期の農民の代表的な住宅として福祉センターわきに復元された。これは本百姓(中流生活の農民)の一住宅として典型であること、重要文化財に指定されている。

農民とはいっても上流の生活者から水呑百姓といわれる人々まであり、その間に差のあつたことは住宅についても歴然としているであろう。上流生活者の住宅は県内でも何軒か保存されているようであるが、中流以下の住宅はごく一般的である故に保存されにくい面を持つている。

## わが町の史跡を

#### (1) 旧石器時代

- 中山遺跡 (高城) 1万年ぐらい前
- 上野台遺跡 (森山)

#### (2) 縄文時代

- 岩瀨遺跡 (高城) 4~5,000年ぐらい前
- 山田遺跡 (光明寺) 4~3,000年ぐらい前
- 川原遺跡 (小坂) 3,000年ぐらい前
- 竹の内遺跡 (西大枝) 3~2,000年ぐらい前

#### (3) 弥生時代

- 堰下遺跡 (泉田)
- 山居遺跡 (高城)
- 根岸遺跡 (西大枝) 1,700年ぐらい前
- 竹の内遺跡 (西大枝)
- 中山遺跡 (高城)

#### (4) 古墳時代

- 太田川遺跡 (森山) (西暦400年代の初め)
- 反畑祭祀遺跡 (徳江) (同上)
- 矢目祭祀遺跡 (塚野目) (同上)
- 南寺田遺跡 (塚野目) (西暦500年代)
- 堰下古墳 (泉田) (西暦400年代の初め)
- 八幡塚古墳 (塚野目) (西暦400年代の中頃)
- 錦木塚古墳 (伊達崎) (西暦600年代の中頃)
- 森山古墳群 (森山) (西暦600年代の終り頃)
- 大木戸古墳群 (大木戸) (西暦600年代)
- 涌水古墳群 (大木戸) (西暦700年代の初め)

#### (5) 奈良時代

- 大木戸窯跡群 (大木戸) (西暦700年代中頃)

# 町勤労者互助会が発足

## 組織のない労働者へ融資

未組織労働者融資制度勤労者互助会については、さきに「広報くにみ」等でお知らせしておりますので、ご存知のことと思います。

この制度は昭和五十二年四月一日からスタートしたもので、県と町が協力して、労働組合などの組織をもたない商店や事業所に勤める方々を対象に融資の道を開き、勤労者の生活安定と福祉の向上を目的とした制度です。

浪曲の文句に「かごに乗る人か つぐ人、そのまたわらしをつくる人」という一節がある。今日の世相はかごに乗りたがる人ばかり多く、かつぐ人やわらしをつくる人は少なくなってきた。そんな中で、地味で、根気がいり、かつ苦勞の多い仕事の統計調査員は、まさに「わらしをつくる人」といえる。

昭和五十一年六月、統計調査の円滑な遂行と、調査員の親睦をはかるために国見町統計調査員協議会が設立された。その初代からの会長が佐藤俊雄さん（泉田字川南二一八）である。昭和四十八年度に県農業基本調査が実施されなくなつてから、とすればうすれがさな相互の連帯感を強め、意識の向上をはかる、ことをねらいとしている。

貸付を受けるためには、町の勤労者互助会の会員とならなければなりませんので、町では、互助会

現在、町の調査員は八十一名。統計思想の普及、ならびに各種統計調査に従事、それぞれ忙しい中にも積極的に取り組んでいる。さらに昨年は、八月に相馬市で行われた県統計大会に参加。町としては初めての試みだったが、四十五人の調査員が参加し、統計についての視野を広げてきた。

最近の経済情勢は、国内的にも国際的にも複雑多様化し、それに伴い、よりきめの細かい統計の需要が増大してきた。国、県、市町村のみならず、民間も、それぞれの活動の指針として広く統計を利用しており、重要な役割を果たし



(17)

設立のため、かねてより関係機関の指導を得ながら準備を進め、さる十二月二十五日、町民福祉センターで行われた設立総会において、国見町勤労者互助会が発足いたしました。

- ① 互助会の事業は
- ② 会員に対しての生活資金、住宅資金の貸付業務
- ③ 会員の加入促進に関する事業
- ④ 会員の親睦に関する事業

現在会員は二十四名ですが、互

## 町統計調査員協議会会長 佐藤俊雄さん

- ① 生活資金全般
- ② 生活資金 五〇万円まで
- ③ 利率 年利八・八八%
- ④ 保証料 年〇・七三%
- ⑤ 返済方法 月賦返済(11回払)、22回払、35回払、貸付期間(3年まで)
- ⑥ 住宅資金(土地、建物担保)
- ⑦ 用途 土地、建物の購入
- ⑧ 新築、増改築資金
- ⑨ 融資額 五〇〇万円まで
- ⑩ 利率 年利八・七六%
- ⑪ 保証料 ただし変動金利制
- ⑫ 返済方法 月賦またはボーナス併用返済(貸付期間は12年または18年)
- ⑬ 借入れ申込みできる方 次の三つの条件のいずれにも該当することが必要です。
- ⑭ 満二〇歳以上の方
- ⑮ 「国見町勤労者互助会」の会員で、入会後一カ月以上経過している方

### 互助会役員

役職名	氏名
会長	佐藤善右衛門
副会長	曳地善吉
理事	田内正勝
	本大佐美
監事	宇佐美藤一
	伊実菅野正
	菅野正
	藤

※なお申込みなどくわしくは、町役場産業課へお問合わせ下さい。

電話番号の問い合わせは ラッシュアワーを避けて 電気公社の番号案内は二十四時間サービスをやっていますが、問い合わせが集中する時間帯は人の活動と同じで、午前九時から午後五時までの間に、その日の約六五%が集中します。

この中でも、午前十時から十一時と午後一時から二時までがラッシュアワーです。こうしたことが、「なかなか出ない」原因になっているのです。なるべく電話帳を引くか、ラッシュアワーを避けるのが賢明です。

とくに専業農家から兼業への移行が目立ち、農業の圧迫はきびしいものがある。

初代農青連会長、また、現在、農協第一理事として活躍する佐藤さん。猫の目のように変わる国の農業政策への批判もチクリ。

「それから、商業・工業統計調査など、金額を記入してもらう調



査は大変苦労する。大部分の方は税金とは全く関係ないとかわかってくれるが、やはり、まだまだ敬遠されることもある。

でもいい加減なことになるれば、一つ一つの誤差はわずかでも総体のデータとなつたとき、信頼性のうすい関連性のない結果となる。

「やはり何とお願いしたい。一般の方々の協力を切にお願いしたい。そして、より早く、より正確にという統計の目標に向かって會員一同努力してゆきたい。」

佐藤さんはそのほか交通安全対策協議会や町簡易水道協議会の幹部としても忙しい日々をおくつていいる。その忙しい一日の疲れをいやすのが、毎日の晩酌。娘たちには「水道の水は断水することがあつてもお父さんの水はきれたことがない」と言われているとか。

### 早くもらえる国民年金

#### ただし減額されます

国民年金の老齢年金や通算老齢年金は、原則として六十五歳になつたときから支給されますが、六十歳を過ぎていれば、この年齢を繰り上げて請求することができます。これを、年金の繰り上げ請求

といひます。

この繰り上げ請求による老齢年金や通算老齢年金の額は、繰り上げ請求をしなかつたときに受ける額より、年齢に応じて次の率で減額されます。

六十歳	42%
六十一歳	35%
六十二歳	28%
支給希望年齢	減額される率

六十三歳	20%
六十四歳	11%

ただし、繰り上げ請求によつて受ける年金は生年同率で減額された年金を受領することとなり、たとえば六十五歳、あるいは七十歳になつたときでも、減額しない年金の額に復活することはできません。請求にあつては、慎重に検討して下さい。

## 歳時記

### 節分



節分が近づくと、一合(〇・一八リットル)マスに入ったイリ豆がお菓子屋さんの店頭に姿を見せます。昔は、台所にある一升マスにイリ豆を入れて、「鬼は外、福は内」とまいたのですが、今は、オートマチック式の計量米びつは台所から消えてしまったので、節分のイリ豆はマスに入ったものが人気のようです。

節分が近づくと、一合(〇・一八リットル)マスに入ったイリ豆がお菓子屋さんの店頭に姿を見せます。昔は、台所にある一升マスにイリ豆を入れて、「鬼は外、福は内」とまいたのですが、今は、オートマチック式の計量米びつは台所から消えてしまったので、節分のイリ豆はマスに入ったものが人気のようです。

すべて節分というわけです。ただ立春は一年の境目ということでも重くみられ、とくに立春の前日だけを節分というようになりました。

新暦では、毎年二月三日か四日。今年は三日です。この日に除災のために、「鬼打ち」または「豆まき」と称して、イリ豆をまいて鬼を追いはらう行事が、神社仏閣や家庭で行われています。今は少なくなりましたが、この時ヒイラギの枝にイワシの頭を刺して戸口にかざると、地方もあります。

節分とは、もとは節、すなわち季節の分かれ目のことで、立春、立夏、立秋、立冬の前日

いま、大豆は、九七・四％が輸入で、大部分がアメリカ産。といふ、みそ、しょうゆ、とうふ、納豆など日本を代表する食べものの原料の豆がほとんどアメリカ製なのです。しかも、大豆がアメリカ製でも、ちつともおいしいことはいわけませんが。

# 公民館だより

国見町公民館  
電話 (公)2676  
話 (南)4156

## 成人の日に寄せて

公民館長 吉田貞造



終戦——  
じりじりと焼けつくような太陽が照り輝く八月十五日、その日の



正午に第二次世界大戦は終りを告げた。それは今から三十有余年前の昭和二十年であった。真実を知らされてない一般国民にとり、敗戦とは極めて意外であったが、昭和十一年以来の長期にわたる無理な戦争ですっかり疲れ果てた日本にとっては、至極当然の結果であ

あった。

戦争に敗れた国民は、燈火管制の続いた長い間の戦時体制から解放されてほっとした。そして、電燈の覆(おおい)をはずした明るい夜が再びかえってきた。しかし国土はすっかり荒れ果て、物資と食糧が極度に不足した。そこから国民は、虚脱と混迷、不安と動揺の苦しい生活が始まった。農村は、職を失って都会から戻った復員軍人が人がにわかに膨張し、時ならぬ空しい賑(にぎ)わいを呈した。そんな時代に私達は青年期を迎えたのである。

私達は「欲しがりません勝つまでは」の標語を合言葉に、心も体もびんと張りつめて、ただ一つ、「勝利の日」を信じて純粋に生きてきた。あらゆる私情を犠牲にしてぐつと歯を食いしばって生きてきた。それが、全く予期しなかった。「敗戦」という冷厳な現実の前に、祖国は音をたてて崩れ去った。私たちは、その戦禍の跡も空しい廃墟の中に立つて、しみじみと虚脱感を味わった。日本は再び立ち上がることができないのではないかとさえ思った。

### 復興

しかし、その荒廃と混乱の中にあつて、やがてまた一つ「祖国復興」という大きな輝かしい希望を

もった国家的目標が芽生えてきた。

それは、封建主義的、全体主義的な旧体制を廃して「民主主義」という新しい思想の上に立つた祖国の復興である。

巷(ちまた)に溢(あふ)れる私たち農村青年は、互いに人先んじて民主主義を勉強した。それは、極めて多様性に富んだ、新鮮で魅惑的なみずみずしい思想であった。青年達は、いもをかじり、野草を食べて空腹を満たし「民主主義とは何ぞや」という命題のもとに、夜を徹して自由を論じ、平等を論じた。それは果てしない議論であり、また、飽くなき夢があった。

一方、インフレがどどんと進行する中で、生活は日に日に苦しく、食糧不足もますます深刻になってきたので、農村の果たす役割はたいへん大きくなった。農村青年は、われおくれじと農業技術の体得と研さんに精励した。そして、やがて花開くであろう日本の将来に「還(かへ)る」かなる想いを馳(は)せて「農業立国か」「工業立国か」と口角あわを飛ばして論じ合った。昔はまさに百花繚乱(りようらん)の賑(にぎ)わいであつた。ばやばやとい、空腹をかかえながらも青年は大きな夢と理想を抱いて、充実感と希望に満ち溢れていた。

### 戦後三十年

戦後三十年。日本は敗戦の痛手にもめげず経済大躍進(とくしん)し立ち上がり、今や世界の雄々大國(ゆうたう)になった。欲しい物は何でも手に入り、言いたいことは自由に言える世の中になった。しかし、今の青年は本當に充実した、そして活力に満ちた幸福感を抱いているであろうか。あの復興時代のように、青年の若い血潮を奮(ふる)いたせるような国家的、民族的目標が今の社会には見当たらないような気がする。あるのは、社会の歪(ひずみ)である。その歪を正す論議も行動もそれなりに尊いものはあろう。しかし、なぜかその論議は否定的で、その行動は破壊的で退廃的な感じがしてならない。それは、平和と安定の長期化による必然的な社会現象であるかも知れない。

一方、民主的な自由社会は、必然的に価値感の多様をもたらし、一人一人の目標が個別化されてゆく面も見逃すことのできない事情であり、これまた自由主義社会の当然の帰結であるといえるかも知れない。しかし、もつと青年の情熱を純粹に結集できる、大局的のRomanのある大目標を欲しいものだと思う。かえりみて、私は何か少し物足りないように思うこの頃である。



### 冬季スポーツ教室のお知らせ

動きのよい冬季シーズンには、とかく運動不足になりがちです。みんなと一緒にできるスポーツ行事に参加してみませんか。

#### 大会の部

##### ◎国見町民卓球大会

期 日 54年2月25日(日)  
時 間 午前9時開会  
会 場 町民体育館

##### ◎国見町公民館長杯家庭バレーボール大会

期 日 54年3月4日(日)  
時 間 午前9時開会  
会 場 町民体育館

#### 教室の部

##### ◎山形蔵王スキー教室(第一回)

期 日 54年1月28日(日)  
集 会 場 町公民館  
集 会 場 所 町公民館  
集 会 場 費 二,000円

##### ◎天元台スキー教室(第二回)

期 日 54年2月18日(日)  
集 会 時間 午前6時  
集 会 場 所 町公民館  
集 会 場 費 一,600円

##### ◎卓球教室

期 日 54年2月15日(木)

2月22日(木)  
午後7時30分から  
9時まで

#### ◎バトミントン教室

期 日 54年3月2日(金)  
3月9日(金)  
3月9日(金)  
午後7時30分から  
9時まで

会 場 町民体育館

※くわしくは公民館へ。

「ご存知ですか」

一日のスポーツ時間  
男性12分 女性5分



私たち日本人が一日にどのくらい  
の時間を運動に当てているか、  
ご存知ですか。

男は十二分間、女はわずか五分間——これが、国民一日一人当たりの平均スポーツ時間です。最近の日本人は、一日五時間以上の自由時間をもっているそうです。この時間は主としてテレビ、ごろ寝新聞、雑誌などに費されています。冬の間に体がなまってしまうように。

## 夫婦なかよく

さくらんぼ学級とは、公民館を中心とした若い夫婦の集まりです。

さくらんぼ学級生 その7



佐野 守さん(三三)  
ミキ子さん(二九)

徳江字東35

長女 貴子ちゃん(七) 長男 勉くん(五)

(家族)

夫婦、子ども二人、父と母

(結婚したのは)

昭和四十五年三月。  
さくらんぼ学級の中では、一番の古株(?)ながら、お二人ともとっても若い。

青年会活動で知り合った二人。一口口と離れていないミキ子さんの家へ、手みやげを持って毎日通ったのが通わないとか……。守さんは大の歌好き。演奏ではもちろん主役。また、ミキ子さんも、明るく、ウイットに富み、一家そろって笑いが絶えない。



## あつかし俳句会

- \* 山眠る無月の一灯光りけり
- \* 佗助は老の二人に一つ咲く
- \* 雪を待つ西に暮るる半田山
- \* 小春日や老に句こぞ詩心
- \* 文芸を語る友あり漱石忌
- \* 春枯るるみちのくいつも地はだ濡れ
- \* 菊枯るるみちのくいつも地はだ濡れ
- \* 逝く年や洗い流して絵筆筆
- \* 日の出前出かける夫に霜柱
- \* 叱られた幼き頃や虎落笛
- \* 検問の巡査浮彫冬の月

- 奥山 甲二
- 斎藤黄鶴楼
- 熊田 一陽
- 野村たかし
- 藤田 勝衛
- 加藤 彌仏
- 佐久間山月
- 須田 泰山
- 奥山 雨田
- 小野寺萬水
- 阿部 享司
- 佐藤 国樞
- 阿部はる子
- 羽賀 えい
- 熊坂 きよ
- 角田 昭子
- 赤間 はる子



- 1月 睦月(むつき)  
 ○16日・やぶ入り  
 ○21日・大寒  
 ○27日・国旗制定記念日  
 2月 如月(きさらぎ)  
 ○3日・節分  
 ○4日・立春  
 ○8日・針供養  
 ○11日・建国記念日  
 ○14日・聖バレンタインデー

## 二十歳を迎えて

森江野 横山聖子



近頃「成人式なんてナンセンス」とばかり、式に出ない人が増えていくとか。実際、私のまわりにも「成人式なんて出ない」と言っている人もいます。しかし、私はひとつの行事として、そして自分の中にあるくどりをとつめるためにも「成人式」というものは大切であると思うのです。二十歳を迎えて思うこと、それは、常にある信念を持った生き方をしたい、ということです。

「GOING MY WAY」私は

このころが好きです。ただなんとなく時が過ぎるのを待つのではなく、積極的に生きる人生——私は私の道を行く——すばらしいと思いませんか。

そしてもう一つ、「出会い」というものを大切にしたいと思うのです。人生八十年、いったい何人の人との出会いがあるのでしょうか。二十歳とはいっても、人間的にはまだまだ未熟な部分が多い私です。その未熟さを、人との出会いによって、その人からいろいろなるものを吸収することによって補っていきたい。そう思うのです。

よく言われることですが、「これにも常に念頭におかなければならぬこと」です。常に自覚を持って、責任ある行動、責任ある生き方をしたい、と思います。最後に、二十年間育ててくれた両親、諸先生に深く感謝いたします。今後ともよろしくご指導下さいますようお願いいたします。

日本の伝統色 ピンクとかグリーンといった外国式の呼び方と違った日本古来からの呼び名、たとえば紅梅色、紅赤、深紅、からくれない、薄紅色——を思い浮かべますか。このほか若竹色、浅葱(あさの)萌黄(もえぎ)とき色、ひわ色、いずれも春を感じさせる色としていまもお正月の暗れ着や帯揚げによく使われております。日本の伝統色名はどのくらいあるかというと「日本伝統色名」には1118あまりが解説されています。色名の成立は植物染料からが一番多く、紅花、藍(あい)、紫草などが古くから使われていたもので、いわば代表格です。

色の呼び方も実に変化に富み、四季の花木にちなむ桃色や桜色、山吹色、藤色などやトリ、動物、果物、顔料、陶磁器などから名づけられたものも多いようです。どの位を身近に感じるかは人によって違いますが、自然に恵まれた国ならではの文化遺産の一つといえます。

## 社会人としての新しいスタート 成人と法律



### 〔親権・後見と扶養〕

未成年者は、親権に服しています。親権とは、親が未成熟の子を養育し、子の財産を管理するなど関係していることです。子が成年に達すると、親権は終了します。

親権が終了したということは、子が一人前になったということですが、一人前になっても、親子は互いに扶養義務を負っています。したがって、学生が、成人後も引

## 心配ごと相談日

場所：役場直室  
 時間：9時～12時  
 こまったことや心配ごとがあり  
 ましたらお気軽にご相談下さい。  
 秘密は絶対に守ります。

(相談員)

- |          |        |
|----------|--------|
| 1月25日(木) | 佐藤 勝   |
|          | マサイ    |
| 2月5日(月)  | 内田 ひで  |
|          | 朝内 正   |
| 2月15日(木) | 桜村 ハツヨ |
|          | 上 正雄   |
| 2月24日(土) | 鈴木 正   |
|          | 佐久間 いち |

き続いて仕送りなどを受けの場合には、法律的には、親権の作用としての養育ではなく、親子間の扶養義務に基づくものだということとなります。

未成年者に親がいない場合などに、後見人が付されることがあります。後見人は、親権者に代わる役割をしますが、この仕事も、子が成年に達すると終了します。その場合、後見人であった人は、管理していた子の財産について、きちんとした計算をする義務があります。

### 〔財産の取引〕

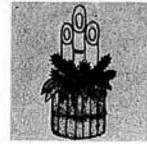


未成年者は、自分の財産があっても、それを自分だけの意思で自由に処分することはできませんが、成人になると、ひとりの意思で処分することができます。金銭の借入などについても、同じことです。

これは、成年に達すれば、取引に伴う利害得失を自分で判断できるという前提にたっているものです。



# お知らせ



## 住宅金融公庫のご利用を

### 財形貯蓄の勤労者

## 健康のよろこびを献血へ

2月16日採血車来町

移動採血車「いずみ号」が二月十六日(金)わが町にやってきました。

血液は代物がなく、お金で買うこともできません。健康なときに献血をしておけば、いざというとき、本人はもちろん、家族や知人も優先的に輸血を受けることができます。

献血は貯金と同じ。毎日の仕事を安心して行なうためにも、献血ししておくことをおすすめします。

期日

二月十六日(金)

場所と時間

○国見町農協前

午前9時30分～10時30分

○国見町役場前

午前10時30分～11時30分

○国見電子前

午後1時～3時

均等毎月払いとボーナス払いの併用。  
※くわしいことは、公庫業務取扱金融機関または住宅金融公庫へおたずね下さい。

## 税の相談はお気軽に

今年も贈与税や所得税の申告時期が近づいてきましたが、所得の計算や税額の計算などを相談したいことも多いでしょう。  
こんなとき気軽に相談できる税務相談の窓口を説明しましょう。

（税務相談室）  
国税局の税務相談の窓口として

福島税務署内(☎47-3348-11)に税務相談室分室が設けられています。

（税務署での相談）  
税務署は、申告等を直接受け付けて処理する窓口ですが、いろいろな税金の相談についても、それぞれ担当の職員がおたずねにお答えしていただきます。

## おわびと訂正

昨年十一月号において、「ベビジ」郵便による不在者投票制度の郵便投票証明書の有効期間は四月とありますが、これは四月か月の誤りでした。おわびして訂正させていただきます。

## おめでとございます

12月中に届けられた方(敬称略)

- (父の氏名) (子の名) (部署)
- 大沼 三郎 哲也 貝田
- 神林 哲 圭 泉田上
- 小山 和美 一也 板橋
- 高橋 長俊 和志 貝田
- 松浦 万助 佳奈子 大木戸
- 八島 敏雄 雄郎 高城
- 秦 文俊 憲 滝山
- 佐藤 正美 弘美 本町
- 吉田 良一 久美子 宮前
- 安藤 樹 祐紀 泉田上
- 齋藤 辰男 利夫 石母西
- 佐藤 良明 学 泉田上
- 櫻沢 牧男 真由美 光明寺
- 志村 清司 智之 高城

## おしゃみしあげます

12月中に届けられた方(敬称略)

- (氏名) (年齢) (部署)
- 高原 圓吉 68 小坂
- 佐藤 ハル 72 山崎館
- 菊地 久市 76 石母原
- 八島 雄一郎 0 高城
- 佐藤 数男 64 大町南
- 安原子ミエ 81 泉田上
- 佐藤源一郎 82 原町

## 編集日記



○年末に雪が降ったもの、お正月以来ずっと晴天の日が続いている。毎年今ごろは、福島盆地特有の厳しい冷え込みでふるえているのだが、こんなにあたたかい年は三千年ぶりとも四千年ぶりともいわれている。今年一年も、この空のように平穏で明るい年であってほしいと願う。

○今年(未(ひつじ)年、昔から羊はいけにえとして神の供物にされてきた。日本では古代の推古天皇時代に渡来したといわれているが、農耕民族の日本ではあまり発達しなかつたようである。

○少し前まではこのあたりでも羊を飼っているところがあったが、今ではもう見る事ができなくなつてしまつた。たまたまお目にかかるときはジーンキスカン鍋の中での変わり方はたまたまだ。

○終りに一言、「今年こそ、どこかにウメエー話はないものかなあ」「いやいや、せめて人にメエーわくをかけないで生きていこうよ。」